

動労総連合青年部

9号

2019年04月27日

千葉市中央区要町2-8 DC会館内
Tel 043-222-7207
doro.sorengo.seinen@gmail.com

「運転士・車掌廃止」絶対反対! 雇い止め解雇を許さないぞ! 全面外注化・転籍強制を阻止しよう!

6・8総連合青年部大会に結集を!



JR東日本は3月29日、「新たなジョブローテーション」と称して、「運転士・車掌の職名を廃止して乗務係にする」「車掌試験も運転士試験も廃止する」というこんでもない提案を行いました。

乗務員は鉄道業務の最も中心的な職種です。その職名には、乗客の命と鉄道の安全を守ってきた歴史と誇りが込められています。日々、何千人という乗客の命と鉄道の安全を背負って乗務しているのです。それを葬り去ろうなど、絶対に許せん!

試験を廃止して「通常の人事異動」で乗務員を決めるということは、管理職の一存で乗務員としての将来が決められるということです。「ゴマをすって会社の言うなりになれ」

3・1「秋葉原駅外注化反対」訴え街宣

3月1日、JR東は秋葉原駅の全面外注化を強行しました。私たちは秋葉原駅全面外注化反対の街頭宣伝を行いました。

秋葉原駅は12月に外注化された吉祥寺駅を上回る大規模駅です。明らかに駅業務の完全別会社化に向けた攻撃です。

駅業務は「安全の要」です。駅業務の別会社化は鉄道の安全を崩壊させます。同時に、労働者を子会社、孫会社と次々に突き落とし、低賃金化・非正規職化していく攻撃です。

それは多くの青年労働者が非正規に突き落とされた現実そのものです。外注化がその最大の武器でした。私たちはこれからも外注化、非正規職化・解雇自由化に反対して闘います。



動労総神奈川 時廣書記長の解雇を撤回しろ! 3・16 桑原副委員長がスト決行!

3月16日、動労神奈川桑原副委員長は、時廣書記長の解雇撤回・非正規職撤廃を掲げて指名ストにたちあがりました。

職場では要員不足が続いていますが、会社は時廣書記長の解雇撤回も増員も拒否。パート・契約社員の正社員化や切実な賃上げ要求も認めませんでした。職場ではパワハラや雇い止め、退職強要が横行しています。

その中で、動労神奈川は「契約書にサインする前から自分の印鑑が押された状態で書類が渡される」という信じがたい不正を追及し、会社を謝罪に追い込みました。現場からの反撃こそ、会社を追い詰める最大の力です。すべての仲間とともに闘おう!

といったようなものです!

しかも、同じ仕事は「最大10年まで」で異動させるとしています。乗務員という仕事は経験がものをいうものです。これで安全が守られるはずがない!

鉄道業務をなめるな!

鉄道業務のすべては一本の列車を走らせるために存在しています。その最も中心をなす乗務員を会社は否定している! それは鉄道業務のすべてを否定することです!

会社は「ドライバレス運転」を推進していますが、実現の可能性があるのは山手線など首都圏のごく一部です。その他では到底不可能です。「乗務員はいらない」など乗務員から誇りを奪うための真っ赤なウソです!

これは乗務員だけでなく、JRで働くもの全員の問題です。JR東日本は今年度の募集要項からポテンシャル採用を「総合職」、プロフェッショナル採用を「エリア職」に変更しました。そして、社員に期待することは、「鉄道事業を支えるプロ」でも「現場第一線で活躍」でもなく、「エリア全体のマネジメント」と「新しいサービス創造」だということです。

採用者数は1800人と例年以上です。全員が「マネジメントを担う」などありえませんが、「変革2027」では現場業務をエリア別に再編し、企画業務と混み運用させるとしています。それ以外の鉄道業務はすべてJR本体から放り出し、別会社化する宣言です。

大量採用して、管理者になれない者は次々に外注先に向向・転籍させようというのです。「運転士・車掌廃止」で乗務員から誇りと団結を奪い、JRで働く全労働者の権利を解体しよう!

「現場第一線」の労働者はJR本体にはいらない? 本当にふざけています! それで安全が守れるはずがありません!

どんなに制度を変えようと、運転士は運転士であり、車掌は車掌です。列車の運行も乗務員が担う以外にありません。車両や線路、設備を日々整備して安全を守っているのも現場労働者です。現場で働く私たちがぬきに会社は一本も列車を走らせることはできません。

だからこそ、現場から団結して声を上げることが会社の攻撃を打ち破る最大の力です。

青年労働者全員の未来のため、「運転士・車掌廃止」を阻止し、鉄道の安全を雇用を守ろう! 闘う労働組合を職場に取り戻そう! 6・8動労総連合青年部大会に結集しよう!

総連合に結集し職場から反撃を!

しようという攻撃です。